

令和4年2月1日

## 原子力機構予算（令和4年度予算、令和3年度補正予算）について

原子力機構の次期中長期計画の検討においては、研究開発とバックエンド対策を両輪で推進することを念頭に進められている。次期中長期計画期間の初年度となる令和4年度の予算についても引き続き当該方針を踏まえて対応しているところである。

令和4年度概算要求にあたっては、概算要求の方針の柱を以下のとおり策定した。

- 原子力利用の安全確保に向けた貢献等のための予算の確保
- 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を踏まえた予算の確保
- Society5.0の実現のための予算の確保
- バックエンド対策の着実な実施のための予算の確保
- 原子力機構の国内外への貢献に向けた取組みのための予算の確保

このように、概算要求にあたっては、安全確保に向けた貢献、バックエンド対策の着実な実施を主要な柱に位置付けて対応した。

### 1. 令和3年度補正予算〔～令和3年12月〕

令和3年度補正予算については、防災・減災、国土強靱化を踏まえ、東海再処理の安全対策、人形峠の自然災害対策といった安全対策に重点的に措置頂いた。

また、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月）に基づき、高速炉実験炉「常陽」の運転再開に向けた準備に補正予算を措置頂いた。

【一般会計】 人形峠安全対策 約4億円

【エネルギー対策特別会計】

東海再処理施設の新規制基準対応等 約38億円

高速実験炉常陽の運転再開に向けた準備 約44億円

### 2. 令和4年度予算案の閣議決定〔令和4年12月〕

令和4年度予算案における機構の運営費交付金及び施設整備費補助金については、令和3年12月、次のとおり閣議決定された。

【一般会計】

約364億円（令和3年度予算：約364億円）

【エネルギー対策特別会計】

約936億円（令和3年度予算：約936億円）

【東日本大震災復興特別会計】

約20億円（令和3年度予算：約20億円）

そのうち主な廃止措置事業に関しては、次のとおり。

(1) 東海再処理施設

令和4年度予算案及び令和3年度補正予算 約145億円(令和3年度予算:約113億円)

(2) もんじゅ

令和4年度予算案 約179億円(令和3年度予算:約179億円)

(3) ふげん

令和4年度予算案 約93億円(令和3年度予算:約88億円)

以上